



2023春闘 第1回交渉報告を受け

23春闘情報パート⑧

「慎重」姿勢に終始した会社へ怒り!



職場の春闘激励行動において、第1回交渉報告を聞いた組合員の声

会社回答の特徴点① 黒字に業績回復させた職場の努力に報いる発言がなかった

業績が「コロナ前の8割戻れば良い」と経営陣は言っていたのに、賃金上がらないことに怒りを持つ!
未加入者が「駅は混んでいる。減便しているから業績が戻らないのでは?」と言っていた。
コロナは5類になり先行きは不透明でなくなる。いつ賃上げするのか?!

いつになったら我々の苦労に報いるか会社に聞いて欲しい! 会社の回答は定型文でしかない!

会社回答の特徴点② 組合員・社員の生活実態に触れず

エルダー組合員から「年収が半分になり大変」「本体エルダーだと現役と同じ仕事して給料安い」
未加入者から「1000~3000円では足りない!」と話が出ている。
最近家に蓄電池を設置してローン組んだ。このままでは生活が厳しい...
光熱費だけでなく食費も値上がりしている。

※「一律10,000円要求」の意味:シニアやエルダーの定期昇給がない方へ報いるため
※「検修職場の若手社員から、年収400万円で夜勤や特金手当もない」実態を第1回交渉で出した。

会社回答の特徴点③ 多能化・系統を超えた柔軟な働き方をすれば
(賃金上げなくても)モチベーションは上がる

モチベーションが年々薄くなっている。未加入者も同じ思いをしている。
経営陣は「若い人が退職までこの会社で仕事する」と本当に思っているのか?
初任給の加算措置はあったが、30代前半の社員は割りを食う
辞めようとしている社員に管理者は「ウェルカムバック採用では受からない」と言った。
そんな会社に残る人は減ると思う。

※ブラック企業のやり方:やめる人が多いから、人材確保として元々働いていた人を優先的に戻す採用を行うと言われる。

会社は職場の苦闘に報い、悲痛な叫びに真摯に向き合え!
さらなる組織強化・拡大を実践し、満額回答を勝ち取るぞ!